

## <ポイント版> ぎふ経済レポート（令和5年8月分）

### 【製造業】

○製造業は、6月の鉱工業生産指数は前月比▲1.7%となった。ヒアリングでは、大手自動車メーカーの増産や半導体不足の解消により受注が増加傾向にあるとの声が聞かれた一方で、価格転嫁は理解されるようになってきたが、今後の仕入価格上昇分も再度価格転嫁できるのかと懸念する声や、海外情勢不安により、今後受注が停滞するとの声が聞かれた。

### 【地場産業】

○地場産業は、6月の鉱工業生産指数は、繊維工業及び食料品で低下した。ヒアリングでは、燃料をはじめとしたあらゆる原材料の値上がりが増え続けているため、再度の価格転嫁を実施したとの声や、新型コロナウイルスの5類移行により業況は回復傾向にあるが、物価上昇による消費低迷の影響を懸念する声が聞かれた。

### 【設備投資】

○設備投資は、7月の全国の金属工作機械受注額は、前年同月比▲19.7%となった。ヒアリングでは、増産に対応するべく、製造ラインの整備や工場の新設を計画しているとの声や、人手不足に対応するための設備導入を検討しているとの声、更には生産効率向上のため、生産管理システムを導入したとの声が聞かれた。

### 【個人消費】

○個人消費は、7月の販売額は、ドラッグストア、家電大型専門店、ホームセンター、コンビニ及び百貨店・スーパーで前年同月比で上昇し、全体で同4.6%上昇となった。ヒアリングでは、生鮮食品スーパーの売上が好調との声や、猛暑の影響により盛夏商材が好調に推移したとの声が聞かれた。

### 【観光】

○観光は、7月の観光客数、宿泊者数はコロナ前の令和元年同月比▲5.0%、▲22.5%となった。宿泊施設からのヒアリングでは、全国旅行支援の終了により宿泊客数は伸び悩んだとの声や、中国からの団体旅行客の動向を懸念する声が聞かれた。

### 【資金繰り】

○企業の資金繰りは、7月の制度融資実績は、金額が6ヶ月連続で増加した。金融機関からは、新型コロナウイルスの5類移行に伴う経済活動の回復により、事業者の資金需要は底堅いとの声や、ゼロゼロ融資の対応について、繰上償還する事業者と借換対応する事業者に二分化しているとの声が聞かれた。

### 【雇用】

○雇用面は、7月の有効求人倍率は1.56倍と22ヶ月連続で1.50倍を超えた。ヒアリングでは、増産の影響により、更なる人手不足の加速を懸念する声や、専門人材の採用に苦慮しているとの声、更には人材の確保や流出を防止するため定年延長や賃金の見直しを行う事業者が増えているとの声が聞かれた。

### 【景気動向】

6月の景気動向指数（一致指数）は前月比▲0.1ポイント、7月の中小企業の景況感と同▲9ポイントとなった。